

1. 共通教育科目の履修方法

() は単位数

履修区分	配 置 科 目 (単位数)	備 考
必 修	【基幹教養科目群必修科目】 種智院学 (1) 仏教入門A (2) 仏教入門B (2) 宗教と福祉A (2) 宗教と福祉B (2) 人権思想 (2) 自己開発とキャリアデザイン (1)	12単位必修
選 択 必 修	【基幹教養科目群】 密教入門A (2) 密教入門B (2) ○社会福祉入門A (2) ○社会福祉入門B (2) 世界の宗教 (2) 世界の福祉 (2) 仏教と現代社会 (2) 仏教と習俗 (2) 仏教と文化 (2) 仏教と生命倫理 (2) 福祉文化論 (2) ボランティア論 (2) 生涯学習概論 (2) 介護入門 (2) 日本国憲法 (2)	1. 社会福祉入門A・Bは必修とし、基幹教養科目群から合計12単位選択必修 2. 言語教養科目群から6単位選択必修 3. 1～2で修得した単位以外に、自由に10単位選択必修、共通教育科目で合計40単位修得
自 由 選 択	【文化教養科目群】 宗教音楽A (1) 宗教音楽B (1) 仏教美術A (1) 仏教美術B (1) 密教瞑想A (1) 密教瞑想B (1) 書道A (1) 書道B (1) 茶華道 (1) 日本美術史A (2) 日本美術史B (2) 古文書学A (2) 古文書学B (2) 仏教文学A (2) 仏教文学B (2)	
	【キャリア支援科目群】 寺院運営論 (2) 宗教関係法A (2) 宗教関係法B (2) コンピュータリテラシー(7-70) (2) コンピュータリテラシー(計測) (2) 文献講読 (2) 体育理論 (2) 体育実技 (1) カウンセリング論A (2) カウンセリング論B (2) 企業実習 (1)	
	【言語教養科目群】 総合英語A (2) 総合英語B (2) 英会話A (2) 英会話B (2) 仏教英語A (2) 仏教英語B (2) 福祉英語A (2) 福祉英語B (2) 上級英語 (2)	
	【社会教養科目群】 インド哲学概論A (2) インド哲学概論B (2) 日本思想史A (2) 日本思想史B (2) 中国思想史A (2) 中国思想史B (2) インド思想史A (2) インド思想史B (2) 西洋思想史A (2) 西洋思想史B (2)	
	【実践宗教科目群】 豊山法儀研究Ⅰ (2) 豊山法儀研究Ⅱ (2) 豊山法儀研究Ⅳ (2) 智山法儀研究ⅠA (2) 智山法儀研究ⅠB (2) 智山法儀研究2A (2) 智山法儀研究2B (2)	
	サンスクリット語Ⅰ (2) サンスクリット語Ⅱ (2) サンスクリット語Ⅲ (2) サンスクリット語Ⅳ (2) チベット語Ⅰ (2) チベット語Ⅱ (2) チベット語Ⅲ (2) チベット語Ⅳ (2) 古典漢語Ⅰ (2) 古典漢語Ⅱ (2)	
	宗教学概論A (2) 宗教学概論B (2) 宗教史A (2) 宗教史B (2) 心理学概論A (2) 心理学概論B (2) 社会学概論A (2) 社会学概論B (2) 法律学概論A (2) 法律学概論B (2) 政治学概論A (2) 政治学概論B (2) 経済学概論A (2) 経済学概論B (2)	

※ 配当年次が2年次以上の科目があるため、配当年次には注意すること。

2. 社会福祉学科専門科目の履修方法

(2021年度以前入学者)

() は単位数

区分	1年次 配当科目(単位)	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
基 盤 科 目	老人福祉論A・B(各2) 障害者福祉論A・B(各2) 児童福祉論A・B(各2)	医学一般A・B(各2)			20単位 選択必修
		社会福祉原論A・B(各2) 仏教福祉論A・B(各2) 社会福祉史A・B(各2) 仏教福祉史A・B(各2) 社会問題論A・B(各2) 社会福祉援助技術総論A・B(各2)	社会保障論A・B(各2) 地域福祉論A・B(各2) 公的扶助論A・B(各2) 社会福祉運営論A・B(各2)	社会福祉援助技術基礎演習(2)	

区分	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
展 開 科 目	社会福祉援助技術各論1A・1B(各2) 介護概論A・B(各2) 保育原理(2) 養護原理(2) 精神保健福祉論I(4) レクリエーション論(2) 就労支援サービス(2) 福祉体験演習(2) 相談援助実習指導I(1)	社会福祉援助技術各論2A・2B(各2) 介護演習(2) 発達心理学A・B(各2) 精神保健福祉援助技術総論A・B(各2) 精神保健福祉論II(2) 障害者スポーツ論(2) 更生保護制度(2) 英書文献講読A・B(各2) 福祉実践演習A・B(各2)	社会福祉調査論A・B(各2) ケアマネジメント論A・B(各2) 権利擁護と成年後見制度(2) 和書文献講読A・B(各2) 学生力パワーアップ演習(2)	26単位 選択必修
		社会福祉援助技術演習IA・IB(各2) 社会福祉援助技術演習IIA・IIB(各2) 医療福祉論A・B(各2) 国際福祉論1A・1B(各2) 精神保健福祉援助技術各論A・B(各2) 精神科リハビリテーション学A・B(各2) 社会福祉学研究2A・2B(各2) 仏教福祉学研究1A・1B(各2) 仏教福祉学研究3A・3B(各2) 相談援助実習指導II(1) 精神保健福祉援助実習指導I(1)	家族援助論A・B(各2) 国際福祉論2A・2B(各2) 精神保健学A・B(各2) 社会福祉学研究1A・1B(各2) 社会福祉学研究3A・3B(各2) 仏教福祉学研究2A・2B(各2) 相談援助実習指導II(1) 相談援助実習(6) 精神保健福祉援助技術演習A・B(各2) 精神保健福祉援助実習指導II(1) 精神保健福祉援助実習指導III(1) 精神保健福祉援助実習(6)	

区分	1年次 配当科目(単位)	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
演習	社会福祉学入門演習(4)	社会福祉学基礎演習(4)	社会福祉学専門演習(4)	社会福祉学卒論演習(4)	16単位 必修
社会福祉学科専門科目必要単位数					62単位

※各種国家試験受験資格に必要な科目は、P59以降を参照すること。

(2021年度入学者)

()は単位数

区分	1年次 配当科目(単位)	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
基 盤 科 目	老人福祉論A・B(各2) 障害者福祉論A・B(各2) 児童福祉論A・B(各2)	医学一般(2)			20単位 選択必修
		社会福祉原論A・B(各2) 仏教福祉論A・B(各2) 社会福祉史A・B(各2) 仏教福祉史A・B(各2) 社会問題論A・B(各2) 社会福祉援助技術総論A・B(各2)	社会保障論A・B(各2) 地域福祉論A・B(各2) 公的扶助論(2) 社会福祉運営論(2)	社会福祉援助技術基礎演習(2)	

区分	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
展 開 科 目	社会福祉援助技術各論1A・1B(各2) 介護概論A・B(各2) 保育原理(2) 養護原理(2) 精神医学A・B(各2) レクリエーション論(2) 就労支援サービス(2) 福祉体験演習(2) 相談援助実習指導Ⅰ(1)	社会福祉援助技術各論2A・2B(各2) 介護技術(4) 保育内容(2) 養護内容(2) 精神保健福祉の原理A・B(各2) 精神保健福祉制度論(2) 障害者スポーツ論(2) 更生保護制度(2) 英書文献講読A・B(各2) 福祉実践演習A・B(各2)	社会福祉調査論(2) 発達心理学A・B(各2) ケアマネジメント論A・B(各2) 権利擁護と成年後見制度(2) 和書文献講読A・B(各2) 学生力パワーアップ演習(2)	26単位 選択必修
		社会福祉援助技術演習ⅠA・ⅠB(各2) 社会福祉援助技術演習ⅡA・ⅡB(各2) 医療福祉論(2) 国際福祉論1A・1B(各2) ソシヤルワの理論と方法(専門)A・B(各2) 精神障害リハビリテーション論(2) 社会福祉学研究2A・2B(各2) 仏教福祉学研究1A・1B(各2) 仏教福祉学研究3A・3B(各2) 相談援助実習指導Ⅲ(1) 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(1)	家族援助論A・B(各2) 国際福祉論2A・2B(各2) 精神保健学A・B(各2) 社会福祉学研究1A・1B(各2) 社会福祉学研究3A・3B(各2) 仏教福祉学研究2A・2B(各2) 相談援助実習指導Ⅱ(1) 相談援助実習(6) 精神保健福祉援助技術演習Ⅰ	

区分	1年次 配当科目(単位)	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
演習	社会福祉学入門演習(4)	社会福祉学基礎演習(4)	社会福祉学専門演習(4)	社会福祉学卒論演習(4)	16単位 必修
社会福祉学科専門科目必要単位数					62単位

※各種国家試験受験資格に必要な科目は、P59以降を参照すること。

1. 共通教育科目の履修に関する注意

(1) 卒業所要科目・単位について

以下の①～④の注意事項は、卒業するまでに満たしておくこと。

①必修科目について

以下の科目の単位は、4年次が終了するまでに必ず修得すること。

種智院学、仏教入門A、仏教入門B、宗教と福祉A、宗教と福祉B、人権思想
自己開発とキャリアデザイン、社会福祉入門A、社会福祉入門B

②基幹教養科目群の履修

当該科目群の中で、12単位を修得する必要がある。12単位のうち、4単位は社会福祉入門A及び社会福祉入門Bを履修する必要があるため、残り8単位を基幹教養科目群の科目から選択し、単位を修得すること。

③言語教養科目群の履修

言語教養科目群の中から、6単位分の科目を履修し、単位を修得すること。

④上記①～③により、卒業に必要な単位数は全部で30単位となる。これに加え、10単位分を共通教育科目の中から自由に選択し、単位を修得すること。

(2) 段階履修科目について

言語教養科目群の「サンスクリット語」ならびに「チベット語」、実践宗教科目群の「豊山法儀研究」は、段階履修科目である。

各科目とも、Ⅰ・Ⅱの単位を修得しなければⅢ・Ⅳを履修することが出来ない。また、春学期において、Ⅰ・Ⅲの単位が修得出来なかった場合、秋学期のⅡ・Ⅳは履修登録が出来なくなり、登録修正をしなければならない。

(3) 再履修が可能な科目について

実践宗教科目群に含まれる科目は、何度でも履修し、単位を修得することが出来る。修得した単位は全て卒業所要単位としてカウントされる。

2. 専門科目の履修に関する注意

(1) 卒業所要科目・単位について

卒業所要単位数は、各区分内で必要な単位数を合計して62単位が必要である。専門科目内の区分において、いずれか一つでも所要単位を満たしていない場合は、当該年度に卒業が出来なくなるため、履修登録の際は、登録科目がどの区分に該当しているかを十分に確認すること。

(2) 予備登録科目について

専門科目では、クラス別受講科目があり、それらの殆どは予備登録により履修制限を設けている。予備登録は年度始めの学科別オリエンテーション時に行う。

(3) 実習科目について

【社会福祉士国家試験受験資格指定科目】

3年次で「相談援助実習」を履修するためには、2年次で「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得する必要がある。また、3年次には「相談援助実習」と「相談援助実習指導Ⅱ」・「相談援助実習指導Ⅲ」を同時に履修する必要がある。

【精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目】

4年次で「精神保健福祉援助実習」を履修するためには、3年次で「精神保健福祉

援助実習指導Ⅰ」の単位を修得する必要がある。また、4年次には「精神保健福祉援助実習」と「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」・「精神保健福祉援助実習指導Ⅲ」を同時に履修する必要がある。

(4) **実習科目の履修登録について**

各資格の実習科目は予備登録により行う。年度始めのオリエンテーション時に予備登録を行い、各実習に必要な実習費を振り込んだうえで、振込証明を教務課窓口へ持参した段階で正式な履修登録が完了する。振込手続きが完了しない場合は、掲示等により注意を行ったうえで、予備登録を削除するので、注意すること。

(5) **各種資格に関する指定科目について**

各種国家試験受験資格に関する指定科目は、入学年度によって指定科目が大幅に異なるため、各自の指定科目を十分に理解し、履修登録を行うこと。なお、両資格を目指す場合、全ての指定科目の単位を4年間で修得できない場合もある。社会福祉学科の教員・教務課窓口等で履修相談をして、しっかりと履修計画を立てること。

3. 共通教育科目・専門科目から自由に選択する科目について

(1) **卒業所要科目・単位について**

卒業するためには、共通教育科目・専門科目に設定されている所要単位を満たし、さらに16単位分の科目を、共通教育科目・専門科目から自由に選択し、単位を修得しなければならない。

- ① 共通教育科目の卒業所要単位40単位のところ、48単位を修得
→ 修得単位48単位－共通教育科目卒業所要単位40単位＝8単位が自由選択単位
- ② 専門科目の卒業所要単位62単位のところ、68単位を修得
→ 修得単位68単位－専門科目卒業所要単位62単位＝6単位が自由選択単位
- ③ 仏教学科の専門科目を履修し、4単位を修得した
→ 社会福祉学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、全て自由選択単位
- ④ 大学コンソーシアム京都単位互換制度により、他大学の科目を4単位修得した
→ 社会福祉学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、全て自由選択単位
- ⑤ 特別科目の単位を4単位修得した
→ 社会福祉学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、全て自由選択単位